

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0841
施設名	北保育園
施設所在地	国立市北 3 - 1 - 1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

北の味噌をつくろう

<テーマの設定理由>

園庭の北の畑で夏野菜の枝豆を育て、収穫し食育につなげる。

2. 活動スケジュール

5 月 種まき
10 月 収穫
2 月 味噌作り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ①耕運機で畑を耕し栽培できるようにうねをつくった。
- ②枝豆の種の購入し、グループで蒔いた。
- ③味噌作りの絵本を読み興味をもたせる。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- | | |
|------|-------------------------|
| 5月 | 大豆のうねをつくる。大豆の種をグループで蒔く。 |
| 6～8月 | 水やりや雑草抜きを行う。 |
| 9月 | 大豆の茎が枯れるのを観察する。 |
| 10月 | 収穫し乾燥させる。 |
| 2月 | 味噌作りを行う。 |

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- | |
|--|
| ①雑草が生えていると「大きくならなくなるから、早く抜こう」と言いながら抜く。 |
| ②枝豆の茎が乾燥し変色すると「おじいちゃんになっちゃった」「かわいそう」「もう食べられな
いかもしれない」と言う。 |
| ③大豆を収穫し、乾燥させ大豆を採ると「豆まきの豆みたい」と言う。 |
| ④味噌作りでは、水に浸したらどうなるかを問う。
「浮かぶ」「大きくなる」「色が変わる」などの意見が出た。 |
| ⑤ゆでた大豆の大きさや感触を聞きながら、味噌作りを進めた。 |



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

- | |
|---|
| ①毎日水やりを行うことで愛着をもち、生長を楽しみにすることができた。 |
| ②味噌作りを行う前に、大豆製品の掲示をすると、いろいろなものに大豆が使われて
いることに気が付き、給食でも「これは大豆だ」と興味をもつことができた。 |